

身分、自由、平等、幸福、価値

1) 私たちは人生で必要なことを決められるだろうか？

極めるための知識： 世界の情勢、諸国民の動き、危機の察知、国内の政治、経済、社会、学校関係、仕事関係、対人関係、子供、家族、男女、趣味、旅行、病気、幸福、不幸の防止、災害、財産、貨幣の価値、交通、移動手段、税金、相続、隣近所、投票の資格、原理

2) 歴史や文化に翻弄されていないだろうか？

3大文明と社会制度（力の正義、複数の正義、自然の正義）、3つの文化と論理（Aと非A、AもBも、自然に聞く）、奴隷制度、身分制度、社会制度、歴史そのもの、その社会の正義、常識、奴隷制度、階級制度、人種差別、LGBT、自由、平等、博愛、誠実、恩義、慈愛、祖先、子孫

3) 「自由」は幸福になる要件か？

カースト制度、士農工商、村の長、共同作業、自由はかけがいのない権利だが、自由で何を極めることができるのか、自由は自分の決定能力を超えていないか、自由は自分の人生で役に立ってきたか、自由な権利は政治に役立っているか、 . . .

4) 「平等」はかえって不幸を作り出しているのではないか？

女性の生涯賃金のグラフ、平等とは結果平等か、機会均等か、どういう状態を平等というのか、奴隷、民族差別、出生差別、職業差別、カースト、差別は差別なのか、力の正義、存在の正義、輪廻の正義、徳の正義、

5) 「価値」の序列は決まっているのか？

この世で価値の基準が決まった時代があるのか、力の支配と価値の支配、次世代の生産、食糧の生産、自動車生産、農民と武士、お母さんと大企業の社長と学者、芸術家 . . .

6) 「繁栄」と「過剰」の区別はどこにあるのか？

1990年以後、日本人は幸福だったか、充足と過剰、時間を埋める癖、買い物をする癖、飽食する癖、他人を批判する癖、ダイエットの罪、フィヒナーの法則、愛する人、 . . .

7) 「筋肉の追放」、「頭脳の追放」が終わった人間社会？

筋肉も頭脳も使う必要のなくなった社会、何も心配のいらぬ毎日、草が多い草原を跳ね回るシカ、異性が不幸でも幸福になれるか、

8) 「核抑止力」と子供の幸福

核による人類の滅亡と子供の将来の決定権、子供の教育権、子供の自主性、子供の自由、 . . .